

令和6年7月26日

山都町議会議長 藤澤 和生 様

厚生常任委員長 吉川 美加

委員会審査報告書

認定第3号 令和5年度山都町病院事業会計決算の認定について

本委員会に付託された令和5年度山都町病院事業会計決算の認定については、審査の結果、次の意見を付けて、認定すべきものと決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

(意見)

令和5年度山都町病院事業会計決算においては、病院事業の決算認定について、議会の議決が求められている。

決算については、監査委員の審査意見書を踏まえ、審査した結果、令和5年度中の事業内容及び病院としての取り組み等について、これを適正と認め認定するものと決定した。

監査委員の決算審査意見書にもあるように、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「2類相当」から「5類」へと移行し、同年10月に新型コロナウイルス感染症病床確保補助金が終了となったことにより補助金は減額となったものの、その後の入院患者数が増加した事で純利益は84,630千円となり収支は黒字であった。この状況を維持するための医師、看護師が安定して確保できる様にすることが不可欠であり、現在募集中の薬剤師の確保に向けては、病院長自ら熊大や関係機関に出向き人材獲得への努力を続けている。

町内でも民間の医療機関が閉院となったり、規模縮小の対策を取ったりしている。今後も医師の高齢化などにより医療機関が減少する心配がある中で、町立であるそよう病院には地域の中核病院、上益城郡内唯一の緊急告示病院として体制の維持に努めて頂きたい。

令和5年度に策定された「公立病院経営強化プラン」を職員自ら作った事は特筆すべきことである。これらの指標に沿いながらも不断の見直しを怠らず、健全な病院経営に努めていただきたい。